

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |              |    |        |              |
|----------------|--------------|----|--------|--------------|
| ○事業所名          | こどもプラス鹿児島教室  |    |        |              |
| ○保護者評価実施期間     | 令和 7年 1月 22日 |    | ～      | 令和 7年 2月 15日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)       | 41 | (回答者数) | 34           |
| ○従業者評価実施期間     | 令和 7年 1月 22日 |    | ～      | 令和 7年 2月 15日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)       | 8  | (回答者数) | 8            |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 7年 2月 15日 |    |        |              |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等                             | さらに充実を図るための取組等                                          |
|---|--------------------------------------------|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 1 | ・運動機能面の向上や思考の柔軟性、人との接し方に対して成長に繋がる療育を行っている。 | ・作業療法士、理学療法士、保育士と協力を図りながら、楽しい活動が提供できている。          | ・常々、朝礼や療育終了後の振り返りを行っている。また、モニタリングや担当者会議等で得た情報の共有を図っている。 |
| 2 | ・クッキングや買い物、施設外での体験活動が多い。                   | ・家庭でも簡単に揃えられる食材や材料を提供することにより、児童も積極的に作業できる工夫をしている。 | ・苦手の食材や作業にチャレンジできるよう種類を増やす工夫をする。                        |
| 3 | ・連絡帳以外にもブログの更新を積極的に行い、活動や支援内容の情報発信を行っている。  | ・運動の様子が伝わりやすいよう、写真選びや文章構成に気を付けている。                | ・楽しく活動に取り組むための雰囲気作りや環境構成には十分に力を入れている。                   |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること              | 事業所として考えている課題の要因等                                                        | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                                            |
|---|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | ・活動の様子を見学できる機会が設けられていない。<br>・保護者会等がないため、保護者同士の交流の機会がない。 | ・開催の時期、時間、場所等の確保が難しい。                                                    | ・運動療育を通して、子どもたちが成長した姿を見て頂くためにも、保護者が参加できるレクリエーションを設け、交流や繋がりが広がる場の提供も併せて検討していく。   |
| 2 | ・学習障害のある児童に対して、学習面での支援が十分にできていない。                       | ・平日のサービス提供時間は、運動プログラムと機能トレーニングの活動があり、学習障害のあるこどもに対し、個別に介入し支援する時間が十分に取れない。 | ・学習に不安感を持つ児童や保護者に、苦手の学習内容や取り組みたい学習を聞き取りし、学校との協議や連携を行っていき、保護者の困り感や不安感に対し寄り添っていく。 |
| 3 | ・室内の広さと児童の人数の関係で、運動の活動時や自由遊びの際の工夫が必要。                   | ・活動を行う室内は広く使えるように整えているが、こどもの特性によっては環境の設定が難しいことがある。                       | ・限られた空間で、子供たちが様々な運動や遊びが行えるように、活動内容の工夫や、道具の使い方、職員の配置や役割を職員間で話し合い、検討していくことが必要。    |